

(単位:千円)

$$\text{資金不足比率(\%)} = \frac{\text{資金の不足額}}{\text{事業の規模}}$$

公営企業会計(法非適用)

会 計 名	繰上充用額 ①	事業繰越額等 ②	建設改良費等以外の経費の財源 としての地方債現在高 ③	解消可能資金 不足額 ④	営業収益に相 当する額 ⑤	受託工事収益 相当額 ⑥
下水道事業特別会計	0	0	0		1,247,517	0

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額}((1)+(2)+(3))-④}{\text{事業の規模}(5)-(6)} \Rightarrow \frac{0}{1,247,517} = \text{資金不足額がないため、資金不足比率なし}$$

※資金の不足額=[繰上充用額+事業繰越額等+建設改良費等以外の経費の財源としての地方債現在高]-解消可能資金不足額
 ※事業の規模=営業収益に相当する収入の額-受託工事収益に相当する収入の額

公営企業会計(法適用)

会 計 名	流動負債 ①	流動資産 ②	建設改良費等以外の経費の財源 としての地方債現在高 ③	解消可能資金 不足額 ④	営業収益の額 ⑤	受託工事収益 の額 ⑥
水道事業会計	101,003	1,866,551	0	0	422,640	0

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金の不足額}((1)+(3)-(2))-④}{\text{事業の規模}(5)-(6)} \Rightarrow \frac{\blacktriangle 1,765,548}{422,640} = \text{資金不足額がマイナスのため、資金不足比率なし}$$

※資金の不足額=[流動負債+建設改良費等以外の経費の財源としての地方債現在高-流動資産]-解消可能資金不足額
 ※事業の規模=営業収益の額-受託工事収益の額